

豊岡市多文化共生推進プラン

これまでの振り返りと今後の取組み

多文化共生推進プランについて

多文化共生推進プラン策定の経緯

2019年度 外国人住民に関する調査研究

2021年度 多文化共生推進プラン策定（～2025）

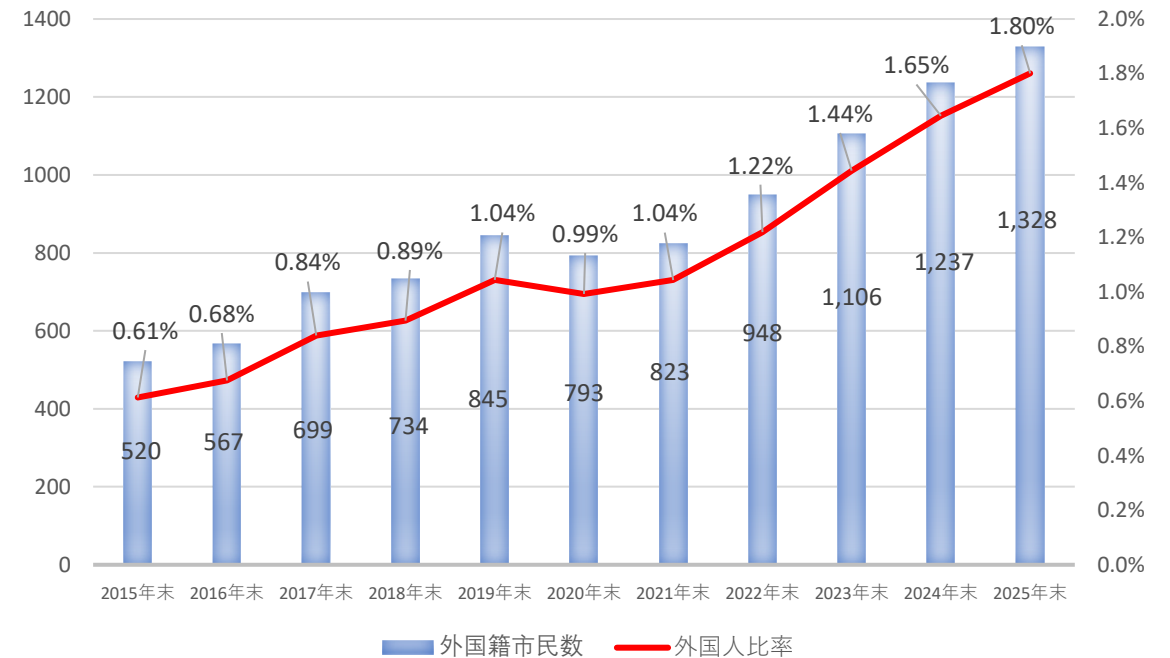
＜プランに基づく事業の実施＞

- ・やさしい日本語、多言語化による広報
- ・多文化交流サロン
- ・転入者向け日本語教室
- ・外国人相談窓口の設置
- ・母語教育の実施 など

2026年度 第2次多文化共生推進プラン改定（～2030）

増加する外国籍市民を貴重な人材、コミュニティの一員として受け入れ、共生し、地域の活性化につなげていく。

外国籍市民の数は10年前の**2.5倍**



さらに50年後には外国人比率**10%**予想

豊岡市多文化共生推進プランに基づく取組状況(指標)

長期目標	多様な人々が地域や職場の一員として活躍している							
戦略目的	暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている							
指 標	基準値	実績値					目標値	収集方法
	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2025年度)	
外国籍市民の5年定住率	40.5%	37.5%	33.0%	36.0%	34.3%	29.7%	45.0%	住民基本台帳
主要手段01	外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている【コミュニケーション支援】							
指 標	基準値	実績値					目標値	収集方法
	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2025年度)	
外国人市民の日本語教室への参加人数	152人	138人	170人	226人	189人	193人	250人	外国人支援団体から聴取
主要手段02	外国人市民が安全・安心に暮らしている【生活支援】							
指 標	基準値	実績値					目標値	収集方法
	(2021年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2025年度)	
外国語通訳ボランティアの人数	34人	34人	33人	34人	30人	25人	50人	外国人支援団体から聴取
主要手段03	外国人市民が地域活動に参画している【意識啓発と地域づくり】							
指 標	基準値	実績値					目標値	収集方法
	(2021年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2025年度)	
外国人市民が地域の行事に参画している行政区及び地域コミュニティの数	1地区	1地区	1地区	0地区	3地区	1地区	基準値の2倍 2地区	アンケート調査

第2次多文化共生推進プランの策定ポイント

長期目標 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している

戦略目的 暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている

手段01：外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている（コミュニケーション支援）

<課題> 情報が届いていない、相談窓口につながっていない、日本語を勉強したくてもできない

- ・ワンストップ相談窓口の活発化 ⇒ 相談窓口を機能させる、他課・他機関との連携を強化
- ・日本語を学ぶ機会の保障 ⇒ 企業に出向いて日本語教室・生活オリエンテーションの実施を検討

手段02：外国人市民が安全・安心に暮らしている（生活支援）

<課題> 就学前施設・小中学校でのサポート体制、生活する上での支援・情報不足

- ・教育の機会の保障 ⇒ 多文化共生サポーターの充実検討、小中学校への多文化共生教育出前授業
- ・相談ごとのサポート ⇒ 学校園のための相談窓口の検討、運転免許取得や就労に関する情報提供体制の検討

手段03：外国人市民が地域活動に参画している（意識啓発と地域づくり）

<課題> 自治会加入率が低い、外国人と日本人がふれあう機会が少ない、差別や偏見の増加

- ・地区、住民とのつながり ⇒ 外国人・地域・学校などの困りごとの洗い出し、ワークショップ、区長や隣保長への研修・勉強会